

**活動主題** 「サンタさんに今年の頑張りを報告する」(NEW CROWN Lesson 6 との関連)

### 活動の価値

近況を伝えることは、今後も良好な人間関係を築いたり維持したりできるように、自分に起こった出来事を報告することである。欧米では、近況を伝え合う方法としてグリーティングカードをやりとりすることが盛んである。クリスマスなどの年中行事に加え、誕生日やお見舞いなど様々な場面で、日頃の感謝の気持ちや季節ごとのあいさつをカードにして伝え合っている。本屋、スーパー、雑貨屋、薬局など、多くの店でグリーティングカードのコーナーが設けられ身近な存在である。届いたカードは飾ったり、クリスマスツリーのオーナメントにしたりする習慣もあり、華やかなものからおもしろいものまで多種多様なカードが毎年やりとりされている。グリーティングカードは、近況を伝え合いながら人間関係を良好に紡いでいく欧米の文化を体験することのできるものである。

本活動は、「サンタさんに今年の頑張りを報告する」を活動主題として、サンタクロースへのクリスマスカードを作成して贈る活動を設定する。この活動を通して子どもは、一般動詞(規則・不規則)の過去形を用いて、中学校生活で頑張ったことや考えたこと、経験したことなどをまとまりのある文章で書くことができるようになる。また、英文手紙の書き方を学んで、日本とは異なる住所の書き方や締め言葉、署名の書き方などから文化的背景を知り、風俗習慣の相違を理解することができるようになる。これらを活用して子どもたちが今年経験したことや感じたこと、考えたことなどを英語で伝え合うことができるようになるため有意義な活動になると考える。

### 子どもの実態

本学級の子ども(〇名)は、小学校で、自分が経験したことを伝えたり紹介したりする表現として *went to~* や *enjoyed ~ing* を学んでいる。小学校の外国語科においては、文法事項として学習するのではなく、言語活動の中で活用することを通して学習をしている。事前調査において、「*I went to Nara.* は、どのような状況を表していますか」という質問について、*went* が「行く」という行動を表していることを理解している子どもは〇名で、そのうち *went* を「行った」という過去の意味でとらえていた子どもは〇名であった。*want* と混同して「~したい」等の願望を含んだ表現で答えていた子どもが〇名いた。また、「*I enjoyed singing.* は、どのような状況を表していますか」という質問については、*enjoyed* を過去の意味でとらえた子どもは〇名であった。「楽しんでる」等、現在時制でとらえた子どもは〇名で、*singing* を現在進行形ととらえて「歌っている」とした子どもが〇名であった。さらに、英語で手紙を書いた経験がある子どもは、〇名であった。

以上のことから、子どもは音声面で慣れ親しんだ表現でも、時制についての理解が十分でないことが分かった。また、小学校での学びをもとに、動名詞を含んだ文章の意味をつかむことができる子どももいるものの、動名詞と進行形との区別があいまいで、英文の動詞を取り違える子どももいることが分かった。また、英語で手紙を書いたことがある子どもは少なく、手紙の書き方そのものについての学習が必要であることが分かった。したがって、子ども自身のこれまでの体験などと関連付けて書くようにすることで過去時制の概念を理解できるようにするとともに、過去形を用いる必要性がある目的・場面・状況において適切に活用できるように援助する必要がある。

### 活動の援助観

そこで本活動では、サンタクロースに向けてグリーティングカードを書き、今年の経験や考えたことを伝える活動を通して、一般動詞の過去形(肯定文・疑問文・否定文)を、目的、場面、状況に合わせて適切に表現し、今後も継続的に活用する意欲をもつことができるようにすることをねらいとする。そのために、次のような援助を行う。

- ・英語のカードを作成することに意欲を高めることができるように、海外のクリスマス文化やグリーティングカードの文化を知る場を設定する。
- ・頑張ったことの良さを強調したり補足したりすることができるように、友達に質問して分かったことや考えたことについて英文に書き加える活動を設定する。
- ・今後も継続的に活用する意欲をもつことができるように、ほかにどんな場面で活用できるか想起する場を設定する。

○ 子どもの学習目標

過去形を用いて、今年1年の出来事をグリーティングカードに書くことができる。

○ 教師の援助目標

一般動詞の過去形（肯定文・疑問文・否定文）を、目的、場面、状況に合わせて適切に表現し、今後も継続的に活用する意欲をもつことができるようにする。

活動計画（8時間）

次	時	学習活動・内容	子どもの問いと思考	援助のねらい・内容・方法
一	1 ①	1 グリーティングカードの文化について知る。 ・感謝の気持ちを伝える ・季節ごとのあいさつ ・相手への贈り物  学習課題 今年頑張ったことを伝えるカードをサンタさんに贈ろう。	サンタさんへどんなことを伝えたらいいかな。  中学生になって頑張ったことや感じたことなどを伝えたいな。	今年の経験や出来事について英語で表現することに意欲を高めることができるようにする。  ・英語のカードを作成することに意欲を高めることができるように、海外のクリスマス文化やカード文化を知る場を設定する。
	2 ④	2 英語の使用場面を考え、必要な言語材料について理解する。 (1) 過去形について調べる ・「離れていること」を表す ・現在との時間的距離（過去） ・現実との乖離（仮定法 if） ・人間関係の距離（丁寧 could） (2) サンタさんに伝えたい今年の経験について表現する。 ・ I enjoyed fishing.（規則動詞） ・ I went to Tokyo.（不規則動詞） ・ I didn't go abroad.（否定文） (3) 自分の経験の良さを見つけ、カードの英文に書き加える。 ・ Did you enjoy learning?（疑問文）	どんな表現を言えるようになったらいいのかな。  過去形を使うと、経験や出来事などを伝えることができるな。	言語の使用場面を考え、適切な表現を用いて表現することができるようにする。  ・過去形が表す概念を捉えることができるように、調べ学習の場を設定する。 ・自分の経験と関連付けて表現することができるように、附中日記を参照して具体的に振り返る場を設定する。 ・頑張ったことの良さを強調したり補足したりすることができるように、英文に書き加える活動を設定する。
二	2 ②	3 自分が経験したことや考えたこと等について発表する。 ・聞き手を意識して伝える A : I enjoyed Fujimi-kai. B : I don't know Fujimi-kai. What is it? ・ALTや友達からの評価 ・内容の付加・修正	サンタさんに伝わる表現や内容になっているかな。  よりわかりやすく伝わるものになったぞ。	・カードに書く英文の質を高めることができるように、ALTや友達から評価をもらう場を設定する。 ・経験を共有していなくても伝わる内容にできるように、聞き手からの反応を基に付加・修正する場を設定する。
	3 ①	4 グリーティングカードを作成し、カードを投函する。 ・英文手紙の書き方 ・ Dear / To（相手の名前） ・ Sincerely.（締めの言葉） ・ 筆記体（署名） ・ 住所の書き方 ・ ファンレターや招待状	どのような点に注意してカードに書いたらいいのかな。  手紙の書き方が分かったぞ。他の場面でも使えるようになりたいな。	今後も継続的に活用する意欲をもつことができるようにする。  ・今後も継続的に活用する意欲をもつことができるように、ほかにどんな場面で活用できるか想起する場を設定する。

本時 公開授業2 第1学年〇組教室 第二次の1時(4/4)

本時の援助観

前時までには子どもは、過去形が「離れていること」を表すことを理解し、一般動詞の過去形(肯定文・否定文)を用いて今年の出来事について表現する学習をしている。そこで、本時は友達の経験や考えについて尋ねることができるように、一般動詞の過去形(疑問文)を使ってインタビューをする活動を設定する。

主眼

一般動詞の過去形(疑問文)を用いて、今年の経験について即興で伝え合ったり、聞いて理解したりして、英文に付加することができるようにする。

本時の過程

学習活動・内容	援助のねらい・内容・方法	形態	配時
<p>1 本時の学習の方向性を確認する。</p> <p>(1) 教師のモデルを聞く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ I enjoyed singing a song, “大切なもの”. Did you enjoy it? Many people enjoyed it.</li> <li>・ I made bavarois. Did you make it? No one? Oh, only me. I am special!</li> </ul> <p>(2) めあてを設定する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">                     経験の魅力について、サンタさんに伝える内容を増やそう。                 </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     活動に見通しをもち、一般動詞の過去形(疑問文・否定文)を使って友だちへ尋ねることへの意欲を高めることができるようにする。                 </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本時の活動に見通しをもち意欲を高めることができるように、活動のモデルを提示し本時のめあてと活動内容を確認する。</li> </ul>	一斉	10
<p>2 自分の今年の経験について表現する。</p> <p>(1) 教師が使った英文を確認し、一般動詞の過去形(疑問文)を学習する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Did you enjoy learning English?</li> </ul> <p>(2) 自分と同じ経験をした人を探すために友達にインタビューをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Did you enjoy learning with your friends?</li> <li>・ Did you go to Nara with your family?</li> <li>・ Yes, I did. / No, I didn't.</li> <li>・ I didn't go to Nara with my family.</li> </ul> <p>(3) インタビューして分かったことや考えたことを、サンタさんに伝える英文に付け加える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ I really enjoyed talking with my friends.</li> </ul> <p>→ I really enjoyed talking with my friends. <u>So I asked “Did you enjoy talking with your friends?” to 10 people. 8 people said “Yes, I did.” Many people have the same good memories. I'm glad.</u></p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     一般動詞の過去形(疑問文)を用いて、今年の経験について即興で伝え合ったり、聞いて理解したりすることができるようにする。                 </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 疑問文の用法を理解することができるように、既習である現在形の疑問文と比較する場を設定する。</li> <li>・ 今年、経験したことについて即興で伝え合うことができるように、Classroom Englishを確認する場を設定する。(Can you say it again? / Can I ask you a question? 等)</li> <li>・ やりとりを振り返ることができるように、動画を撮影する場を設定する。</li> <li>・ 頑張ったことの良さを強調したり補足したりして英文に付加することができるように、英文に書き加える活動を設定する。</li> </ul>	個 / 学級集団 / 小集団	25
<p>3 本時を振り返り、次時の予告を聞く。</p> <p>(1) 本時の学習を振り返り、共有する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 疑問文では、do を did にすれば過去のことについて尋ねられると分かった。</li> <li>・ 質問することで、同じ思いや考えをもっている人を見つけたり、感想を共有したりすることができた。</li> <li>・ サンタさんが私への返事を書きやすいように、カードの最後に質問を入れた。</li> </ul>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     これからの学習でも活用していくことにむけて、意欲を高めることができるようにする。                 </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 成果や課題を認識し、今後につなげていくことができるように、学んだ内容と学び方の視点で学習を振り返り、共有する場を設定する。</li> </ul>	個 — 一斉	15

活動の評価

知識・技能	・中学校生活での出来事について、一般動詞の過去形を用いて書く技能を身につけている。
思考・判断・表現	・自分の頑張りを知ってもらえるように、中学校生活について簡単な語句や文を用いて、過去の出来事や考えを即興で伝え合っている。 ・クリスマスカードを作成するために、中学校生活の出来事について、事実や自分の考えを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書いている。
主体的に学習に取り組む態度	・クリスマスカードに書かれた文章から、差出人が伝えたい出来事とその概要を読み取ろうとしている。 ・自分の頑張りを知ってもらえるように、中学校生活での出来事について、事実と意見や感想を整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり相手からの質問に答えたりしようとしている。

※ 知：知識・技能      思：思考・判断・表現      態：主体的に学習に取り組む態度

次	時	学習活動	評価規準（観点：方法）	指導の個別化（手だて）
一	1 ①	1 グリーティングカードの文化について知る。  学習課題 今年頑張ったことを伝えるカードをサンタさんに贈ろう。	・クリスマスカードに書かれた文章から、差出人が伝えたい出来事とその概要を読み取ろうとしている。（態：学習プリント）	・意欲を高めることができるように、具体物や映像等を個別に示す。
二	1 ④	2 英語の使用場面を考え、必要な言語材料について理解する。 (1)過去形について調べる。 (2)サンタさんに伝えたい今年の経験について表現する。 (3)自分の経験の良さを見つけ、英文に書き加える。	・中学校生活での出来事について、一般動詞の過去形を用いて書く技能を身につけている。（知：学習プリント）  ・自分の頑張りを知ってもらえるように、中学校生活について簡単な語句や文を用いて、過去の出来事や考えを即興で伝え合っている。（思：動画）	・新出言語材料を文脈の中で捉えることができるように、挿絵や写真などを使って個別に助言をする。  ・伝えたい内容の日本語をどのようにほぐすことができるか個別に問う。
	2 ②	3 自分が経験したことや考えたこと等について発表する。	・自分の頑張りを知ってもらえるように、中学校生活での出来事について、事実と意見や感想を整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり相手からの質問に答えたりしようとしている。（態：動画）	・学習した言語材料を使って表現することができるように、既習内容との関連を個別に問う。
三	1 ①	4 グリーティングカードを作成し、カードを投函する。	・クリスマスカードを作成するために、中学校生活の出来事について、事実や自分の考えを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書いている。（思：学習プリント）	・意欲的に取り組むことができるように、そのつまずきに応じて個別に助言する。